

平27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	岡谷太鼓まつりプレ御柱祭誘客事業
事業主体 (連絡先)	岡谷太鼓まつり実行委員会 委員長 今井竜五 担当者：岡谷市役所産業振興部商業観光課 小口康生
事業区分	⑥ア特色ある観光地づくり ③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,609,000 円 (うち支援金：2,581,000 円)

事業内容

本事業は、御柱祭に多くの観光客をはじめ地域住民が訪れ盛大に開催されるよう、積極的にPRすると共に、地域住民の心を一つにするため、前年に太鼓まつりにおいてプレ御柱祭を開催するものであります。

事業内容については、メインステージ両脇に、シンボルとなる原寸大の模擬建御柱を設置し、音と映像のコラボレーションによりステージの演出を行う。また、会場内には、ミニおんべを配布し、更には、ミニおんべ作成ブースを設け手作りのおんべを作成していただく。

祭り後には、模擬御柱を、岡谷蚕糸博物館及び岡谷駅ホームに展示し、間近に御柱祭を感じていただく。



【岡谷太鼓まつりメインステージ】

【目標・ねらい】

- ① 岡谷太鼓まつりの誘客
- ② 太鼓まつりへの参加
- ③ 祭り期間中の御柱祭のPR
- ④ 祭り終了後の御柱祭のPR

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

岡谷太鼓まつりには、毎年、2日間で10万人を超える多くの観光客や地域住民の皆さまに足を運んでいただいております。

太鼓まつりにおいて、プレ御柱祭を開催することで、多くの皆さまに御柱祭の迫力と興奮を伝えることができました。また、祭り後は、模擬御柱を岡谷蚕糸博物館及び岡谷駅ホームに常設したことにより、多くの観光客や地域住民の皆さまに間近に御柱祭を感じていただき、予想を上回る効果が出ております。

※自己評価 【 A 】

【理由】
模擬御柱の設置と映像の利用・おんべの配布を行ったことにより、多くの来場者に参加していただき、迫力ある御柱祭のPRができたと評価している。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

岡谷蚕糸博物館及び岡谷駅ホームに模擬御柱を設置したことにより、御柱の情報発信が可能となった。

今後、継続して情報発信を行うため、設置した御柱や映像を活用しながら、御柱祭をフックとした岡谷市及び諏訪地方の情報発信を行って参りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある